目標達成計画

作成日: 平成 24 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の研修を行い職員間で周知しているが、言葉での身体拘束やベッド柵や位置の工夫など職員間で周知・検討が必要。	言葉での身体拘束をなくす	利用者の訴えにすぐに対応出来ない状態のとき、「ちょっと待ってください」などの言葉ではなく説明し納得してもらうような声かけを心がける。(例えば〇分まってもらっていいですか?など)	12ヶ月
2			ベッド柵やベッドの位置などの工夫	立ち上がる際の転倒予防のベッド柵の位置や壁とベッドの位置など、事例検討などにて見直し・検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。